

日中国交回復 44 周年

9/30

# 講演会 日中友好の展望

## 三菱マテリアル中国人強制連行事件の和解を経て

日本は戦時中、中国人労働者を強制連行し、鉱山、ダム建設、港湾などの労働に従事させました。連行された 38,935 人のうち 6,830 人が苛酷な労働のため命を落としています。

今年 6 月 1 日、三菱マテリアル（旧三菱鉱業）が強制連行された中国人元労働者に謝罪し、和解金を支払うことで和解が成立しました。今回の和解は、今までの中国人強制連行事件の和解に比べて、対象者が下請け先を含む 3,765 人と多く、和解金額も大幅に引きあがったものでした。

多くの中国人強制連行裁判に携わってきた内田雅敏弁護士に、今回の和解の意義と課題について報告していただき、昨年の安保法制成立以降、ますます緊張が高まる日中関係のなかで、日中友好を図るにはどうしたらよいか、その展望について語っていただきます。



講師

**内田雅敏** 弁護士

（戦争をさせない 1000 人委員会事務局長）

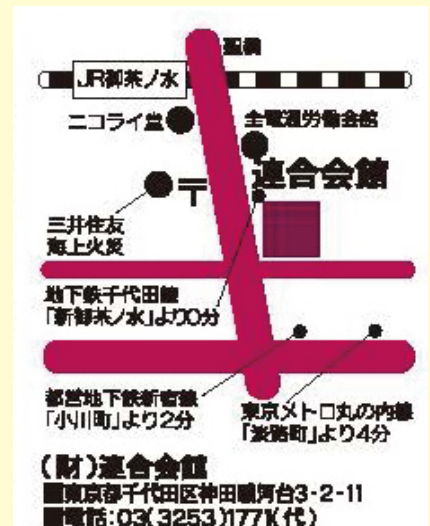
日時 2016 年 9 月 30 日（金）18 時 30 分～

場所 連合会館 2 階 201 号室

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11  
TEL: 03-3253-1771（代）

会場費 500 円

（日中労働情報フォーラム会員は無料）



主催 日中労働情報フォーラム

<連絡先> 〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 全港湾気付

ファックス 03-3733-8825 メール info@chinalaborf.org ホームページ <http://www.chinalaborf.org/>

協賛 平和フォーラム